

積企第129号  
平成20年10月9日

国土交通省道路局長 殿

積丹町長 松井秀紀



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号によるこのことについて、別紙のとおり提出しますのでよろしくお願いいたします。

(企画課)

## 今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

### ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道積丹町

道路整備は、住民生活の利便、安心・安全、地域の活性化にとって不可欠であり、住民要望も強いものがあります。

地方では、高速道路などの主要な幹線ネットワークの形成を始め、防災対策、さらには通学路の整備などの安全対策をはじめ、救急医療などの速達性、住民生活に欠かすことのできない道路整備を鋭意行ってきています。また、橋梁などの道路施設の老朽化が進んでおり、その維持管理も行わなければならない、その費用も増大しています。

当町においても、気象や地形など厳しい自然条件下にあり、冬期も含めた既存の国道機能の安全性と利便性を確保するためには、岩盤斜面に関わる安全対策や海岸線における越波対策等が急務であります。また、地域の自立・活性化のため、札幌や小樽といった道央都市圏域との距離的至近性を生かすための、広域な人流・物流ネットワーク整備は最も重要であり、高速道路や他の道路などが一体的に整備されることによりアクセスの高速化・快適化・安定化が図られます。

よって、平成20年5月13日に閣議決定された「道路特定財源に関する基本方針」における平成21年度からの道路特定財源の一般財源化を含む税制抜本改革の検討にあたっては、国の道路関連支出の無駄を徹底して排除することは勿論、地方が真に必要としている上記のような道路の整備促進と、地方財政に影響を及ぼさないことを前提に地方が必要とする予算の確保が必要です。

○現状

本町には、国道229号32.7km、道道野塚婦美線13.9km、道道船澗美国港線7.1kmと町道87.1kmにより道路ネットワークを築いており、国道の改良率100%、舗装率100%、道道の改良率93.7%、舗装率98.2%で整備されているが、町道は改良率58.8%、舗装率43.5%の状況にある。

主要集落を結ぶ幹線道路は、国道229号及び道道野塚婦美線である。

町道は主として集落内の生活及び産業生産道路として幅員2.0mから9.0mまで多岐にわたり、車両の大型化及び冬期交通の確保などから4.5m以上の道路幅員の確保に努めているが改良率、舗装率が全道平均と比較して低い状況にある。

○課題

国道229号の積丹半島周遊道路が平成8年に開通し、新たな交通ネットワークが創出されたことにより、隣接する神恵内村はもとより関係町村の産業振興と道央、道南圏域の産業経済や観光振興に大きな役割を果たすほか、生活文化の交流や民生の安定に寄与している。

しかし、当町を含め北海道の日本海沿岸の町村は、国道が唯一の他町村との連絡道路となっている場合が多く、ひとたび国道が不通になると孤立する危険性が極めて高く、生活経済全ての面に与える影響が大きいため災害に強い道路づくりとまちづくりが求められている。

また、海岸沿線の国道、道々を中心に広域観光ルートが確立しており、観光客の入込み増に伴い崖崩れ防止など海岸線の安全対策の整備と併せ沿道駐車場や歩道などの拡充整備が急がれている。

町道については、改良舗装、除雪機械整備の充実、流雪溝などの整備が図られてきたが、観光業の活性化や住民生活に特に密接な関連を有する道路網の改良整備と冬期間の交通確保、安全で快適な冬の生活環境づくりのための整備が急がれている。

本町は、漁業と農業の第一次産業を基幹として開基し、地域経済を支えている。

一方、社会経済情勢の変化の中で、観光業を第3の町の基幹産業として振興定着させるための施策展開の努力を続けてきたことにより、人口の減少や就業人口の高齢化など厳しい社会環境下で、町の社会経済の形成が維持されてきた。

今後も、生産性の高い安定した生鮮食料基地をめざした農漁業の維持と優れた自然景勝地を生かした観光業の振興を柱とした産業の活性化との相乗効果の創出による地域社会経済の向上発展を図る。

また、本町と札幌道央圏を結ぶ国道5号及び229号の整備や北海道横断自動車道(黒松内～小樽間)など、道路網の整備の促進による距離的至近性の増大と余暇の増大に伴う社会的変化を背景として、当町の立地的優位性を生かした、札幌や小樽といった道央都市圏域住民の農水産物の生鮮食料供給基地、身近な優れた景勝保養地としての機能の発揮など、都市との結びつきを強めた地域振興策の積極的な展開により活力ある町づくりを推進する。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道積丹町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	北海道横断自動車道(黒松内～小樽間)の整備	高速道路などの整備により、道内主要都市や空港等から地域までのアクセスの高速化・快適化・安定化が図られるほか、広域的な人流・物流ネットワーク整備により地域の自立・活性化が図られる。	
・水害等の災害に強い国土づくり	主要幹線道路としての国道の整備	国道機能の安全性と利便性確保のため、岩盤斜面に関わる安全対策や海岸線における越波対策等により、地域の主要幹線道路として、安全な通行が確保される。	
・良好な景観の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観に配慮した、残土及び撤去工作物等の堆積・保管等処理</li> <li>・路肩部の除草作業の充実</li> <li>・防風雪柵を折りたたみ式へ切替え</li> <li>・簡易駐車帯やビューポイント等の整備</li> </ul>	住民生活の利便性の向上、経済の活性化や地域産業の振興発展、また、沿道の緑化や環境・景観保全が図られる。	
・良好な生活空間の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除排雪事業の充実</li> <li>・地方自治体における除排雪事業への助成制度の新設要望</li> </ul>	地域の孤立の解消及び安全・安心な交通の確保や良好な生活空間の確保が図られる。	